２０２１年８月１９日
記　者　発　表　資　料
財務部　財政課　課長　高田
電　話　042－724－2149

2020 年度決算「課別・事業別行政評価シート」について

『令和 2 年度(2020 年度)町田市課別・事業別行政評価シート』が完成しました。
2020 年度決算では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多くの事業において影響が表れています。

■ 2020 年度決算の概要

(1) 作成対象　(　)は 2019 年度決算

課別	事業別	会計別	計
103(106)	126(129)	4(3)	233(238)

参考 (下水道事業会計)
5

(2) 新規作成した事業
①三輪子どもクラブ運営事業　(2020 年 3 月 2 日開館)
②鶴川駅南土地区画整理事業会計　(新規設定)
③鶴間公園事業　(都市公園事業から分割)
④治水管理費　(下水道事業会計から一般会計へ変更)

(3) 2019 年度決算からの変更点
①<u>自治体間比較の視点を取り入れるための記載欄の追加</u>　＜別紙1参照＞
課別行政評価シートに記載欄を追加しました。
②<u>毎年度のトピックスについて振り返るための記載欄の追加</u>　＜別紙1参照＞
2020 年度決算では、「新型コロナウイルス感染症の影響、対策および財務への影響の分析」としています。
③<u>総括における課題解決・目標達成に向けた取り組み記載欄の細分化</u>
＜別紙1参照＞
課題解決・目標達成の時期等を明確にするため、「短期的な取り組み(1～2年)」と「中長期的な取り組み(3～5年)」に細分化しました。
④<u>同種施設比較分析表の分析強化</u>　＜別紙2参照＞
新型コロナウイルス感染症が施設マネジメントに及ぼす影響の詳細を明らかにすることを目的として、「事業成果の月次推移」欄と「事業成果の月次推移の分析」欄を追加しました。
⑤<u>新型コロナウイルス感染症が町田市に及ぼした影響の分析</u>　＜別紙3参照＞
新型コロナウイルス感染症が町田市全体に及ぼす影響を把握することを目的として、一般会計全体のシートを追加しました。シートでは、財務への影響や新型コロナウイルス感染症に対する町田市の動き等が把握できるようになっています。

■ 「令和 2 年度（2020 年度）町田市課別・事業別行政評価シート」の閲覧について

町田市ホームページから閲覧することができます。

〔 トップページ ＞ 市政情報 ＞ 市の財務情報 ＞ 町田市の新公会計制度について ＞ 決算 〕

https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/gyouzaisei/shin_ko-kaikei/kessan/index.html

■ ダイジェスト版の概要

(1) 作成対象

14 事業（2019 年度決算　15 事業）

(2) 新規作成した事業

・三輪子どもクラブ運営事業

・町田薬師池公園四季彩の杜事業

別紙1

行政評価シートの変更点

2020年度 課別行政評価シート

部名	文化スポーツ振興部	課名	国際版画美術館	歳出目名	国際版画美術館費
				事業類型	d.事業型(施設運営・受益者負担)

1.組織概要

組織の使命	優れた美術作品に触れる機会、および学習、創作、発表を通して美術に親しむ機会と環境を提供します。また、貴重な文化財である版画作品を収集・保管し、市民の財産として未来に伝えます。
所管事務	◆美術作品等の収集、保管及び展示、講演会等の事業の企画及び実施に関すること。◆版画に関する専門的、技術的な調査研究及び情報の提供、美術に関する教育普及及び広報活動に関すること。◆市民の美術学習及び団体活動の援助、施設及び設備の貸出及び維持管理に関すること。
他自治体等の取り組み	版画工房の一般開放。 (近隣の美術館で同様の取り組みをしているのは横浜美術館のオープンスタジオ版画室のみ) ◆年間利用者数 横浜美術館　1,801人(2018年度実績) 国際版画美術館　2,631人(2018年度実績)

基本情報						
根拠法令等	町田市立国際版画美術館条例					
	2018年度	2019年度	2020年度	施設の名称	町田市立国際版画美術館	
利用料金収入　(単位:千円)	16,869	14,519	10,929	建設年月日	1986年8月1日	
受益者負担比率	4.8%	4.0%	3.3%		2018年度	2019年度	2020年度
				有形固定資産減価償却率	34.1%	35.5%	35.7%

2.2019年度末の総括

①「成果および財務の分析」を踏まえた事業の課題

◆観覧者数と観覧料収入が減少したことから、展覧会やイベントを実施する際にはインターネットやSNSをはじめとして様々な手法により国際版画美術館の魅力を情報発信する必要があります。◆行政収入の増加に向けて、助成金などの積極的な獲得が求められています。◆多くの人に訪れてもらうため、美術館へのアクセス方法について検討する必要があります。◆新型コロナウイルスの影響による臨時休館を契機として新しい美術鑑賞の方法やイベント実施の手法について検討する必要があります。

②課題解決・目標達成に向けた今後の取り組み

◆来館者数の増加を図るため、Instagramによる動画配信を行うなど、幅広い層の関心を集める情報発信をするほか、インターネット上での検索キーワードを活用したWEB広告など集客に向けた新たな広報活動に取り組みます。◆来館者の増加にむけて展覧会の期間に合わせた無料シャトルバスを運行します。◆オンラインでも美術鑑賞を楽しめたり、イベントに参加できる取組みについて検討します。

3.事業の成果

成果指標名	単位	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度目標	目標(達成時期)	成果指標の定義
国際版画美術館展覧会観覧者数	人	目標	107,000	122,000	46,086	93,000	93,000	企画展および常設展示室ミニ企画展の観覧者数の合計(2020年度は新型コロナの影響を考慮し目標を設定した)
		実績	114,069	106,077	71,465		(2021年度)	
観覧料、施設使用料、特別閲覧手数料収入	千円	目標	20,000	21,000	12,000	22,000	22,000	企画展観覧料、施設使用料、特別閲覧手数料の合計額(2020年度は新型コロナの影響を考慮し目標を設定した)
		実績	16,869	14,519	10,929		(2021年度)	

成果の説明　◆2020年度は6件の企画展と4件のミニ企画展を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により3月28日から6月8日まで臨時休館となったことなどにより、年間の展覧会観覧者数は2019年度より34,612人減少し、観覧料や施設使用料などの収入も3,590千円減少しました。◆「インプリントまちだ2020」展は2020年美連協大賞「奨励賞」を受賞しました。◆6月から11月にかけて展覧会の開催に合わせた無料シャトルバスを運行し、延べ2,459人の利用がありました。◆ZoomやInstagramのライブ配信によるオンラインでのイベントを開催し、延べ275人の参加がありました。◆新たに美術館連絡協議会美術館活動助成金を獲得しました。

4.財務情報

①行政コスト計算書　(単位:千円)

勘定科目	2018年度	2019年度 A	2020年度 B	差額 B-A
行政費用 人件費	128,036	132,064	123,226	△ 8,838
うち時間外勤務手当	7,966	10,015	10,289	274
物件費	128,757	145,238	132,144	△ 13,094
うち委託料	90,974	103,093	104,105	1,012
維持補修費	18,422	6,256	4,002	△ 2,254
扶助費	0	0	0	0
補助費等	16,783	5,407	12,352	6,945
減価償却費	54,543	56,285	56,285	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	0
賞与 退職手当引当金繰入額	7,478	16,885	7,222	△ 9,663
行政費用 小計 (b)	354,019	362,135	335,231	△ 26,904
特別費用 (g)	0	0	7,600	7,600
特別収支差額 (f)-(g)=(h)	1,665	0	140,086	140,086

勘定科目	2018年度	2019年度 A	2020年度 B	差額 B-A
行政収入 地方税	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	800	600	0	△ 600
分担金及負担金	0	0	0	0
使用料及手数料	16,869	14,519	10,929	△ 3,590
その他	17,881	15,492	9,275	△ 6,217
行政収入 小計(a)	35,550	30,611	20,204	△ 10,407
行政収支差額 (a)-(b)=(c)	△ 318,469	△ 331,524	△ 315,027	16,497
金融収支差額 (d)	△ 281	△ 262	△ 238	24
通常収支差額 (c)+(d)=(e)	△ 318,750	△ 331,786	△ 315,265	16,521
特別収入 (f)	1,665	0	147,686	147,686
当期収支差額 (e)+(h)	△ 317,085	△ 331,786	△ 175,179	156,607

②行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	総合管理委託料　70,858千円 光熱水費　11,349千円 ポスター等作成委託料　5,775千円 ディスプレイ作成委託　4,662千円　など	決算額の主な内訳	「インプリントまちだ展2020」負担金　6,350千円 講座講師謝礼　1,142千円 施設使用料還付金　964千円 「ゆうゆう版画美術館まつり」負担金　850千円　など
主な増減理由	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館の影響により、光熱水費の減少や、予定していた展覧会の延期で通信運搬費が減少したことなどから全体で13,094千円減少。	主な増減理由	2020年度は新聞社との共催で展覧会を開催したため、負担金が6,350千円増加。補助費全体では6,945千円増加。

勘定科目	維持補修費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	非常用発電設備修繕　1,412千円 空調機二方弁交換修繕　638千円 施設案内標識撤去修繕　550千円 消火栓ポンプ修繕　375千円　など	決算額の主な内訳	地域の文化・芸術活動助成事業助成金　5,200千円 物品売払収入　1,863千円 美術館連絡協議会美術館活動助成金　500千円 講習会等参加費　500千円　など
主な増減理由	高圧ケーブル及び区分開閉器更新工事を行わなかったこと等により、2,254千円減少。	主な増減理由	新たに美術館連絡協議会助成金を獲得できたことなどから助成金獲得額は2,563千円増加。展覧会の延期に伴う図録販売収入の減少などから全体では6,217千円減少。

③単位あたりコスト分析　※単位あたりコストは、各年度の「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	対前年度	単位あたりコストの増減理由
国際版画美術館年間入館者数1人あたりコスト	人	2020	107,022	3,132	897	新型コロナウイルス感染症の影響により年間の入館者数が減少したため、入館者数1人あたりのコストは2019年度よりも897円増加しました。
		2019	162,035	2,235	253	
		2018	178,656	1,982		
開館1日あたりコスト	日	2020	248	1,351,738	144,621	行政費用が減少したものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館により、開館日数が減少したことから、1日あたりのコストが2019年度よりも144,621円増加しました。
		2019	300	1,207,117	50,192	
		2018	306	1,156,925		

④貸借対照表　(単位:千円)

勘定科目	2019年度末 A	2020年度末 B	差額 B-A
流動資産 未収金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0
その他の流動資産	0	0	0
固定資産 事業用資産 有形固定資産	1,183,852	1,127,996	△ 55,856
土地	0	0	0
建物(取得価額)	2,258,181	2,258,181	0
建物減価償却累計額	△ 1,337,341	△ 1,393,197	△ 55,856
工作物(取得価額)	263,012	263,012	0
工作物減価償却累計額	0	0	0
無形固定資産	0	0	0
インフラ資産 有形固定資産	0	0	0
土地	0	0	0
工作物(取得価額)	0	0	0
工作物減価償却累計額	0	0	0
無形固定資産	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0
その他の固定資産	1,409,937	1,549,239	139,302
資産の部合計	2,593,789	2,677,235	83,446

勘定科目	2019年度末 A	2020年度末 B	差額 B-A
流動負債	20,897	20,189	△ 708
還付未済金	0	0	0
地方債	12,967	12,967	0
賞与引当金	7,930	7,222	△ 708
その他の流動負債	0	0	0
固定負債	230,687	210,820	△ 19,867
地方債	125,208	112,242	△ 12,966
退職手当引当金	105,479	98,578	△ 6,901
その他の固定負債	0	0	0
繰延収益	0	0	0
長期前受金	0	0	0
負債の部合計	251,584	231,009	△ 20,575
純資産	2,342,205	2,446,226	104,021
純資産の部合計	2,342,205	2,446,226	104,021
負債及び純資産の部合計	2,593,789	2,677,235	83,446

⑤貸借対照表の特徴的事項

勘定科目	建物(事業用資産)	勘定科目	工作物(事業用資産)	勘定科目	その他の固定資産
決算額の主な内訳	美術館　2,258,181千円	決算額の主な内訳	屋外彫刻4点　263,012千円	決算額の主な内訳	収蔵美術品　1,447,953千円 定額運用基金　100,000千円 小グラフ用プレス機　1,286千円
主な増減理由	減価償却により、55,856千円減少。	主な増減理由	美術工芸品類は減価償却対象外資産。	主な増減理由	過年度の寄贈資料の登録などにより、収蔵美術品は139,731千円増加。プレス機の減価償却により429千円減少。

⑥キャッシュ・フロー収支差額集計表　(単位:千円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
行政サービス活動収入	20,204	社会資本整備等投資活動収入	0	財務活動収入	0
行政サービス活動支出	284,989	社会資本整備等投資活動支出	1,449	財務活動支出	12,967
行政サービス活動収支差額(a)	△ 264,785	社会資本整備等投資活動収支差額(b)	△ 1,449	財務活動収支差額(c)	△ 12,967
				収支差額　合計 (a)+(b)+(c)	△ 279,201
				一般財源充当調整額	279,201

5.財務構造分析

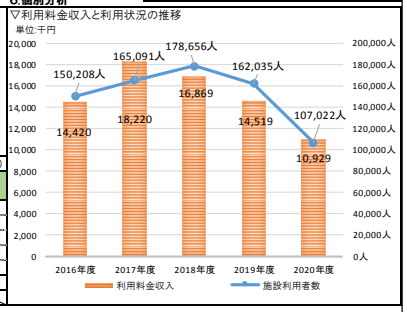
▽行政費用の性質別割合

▽事業に関わる人員　(単位:人)

業務内容	常勤	再任用フルタイム	再任用短時間	会計年度(業務)	会計年度(補助)	2020合計	2019合計
内訳 管理事務	6.2				1.3	7.5	7.7
展示事業	4.4				1.0	5.4	6.1
ハイビジョン事業	0.0				0.0	0.0	0.0
普及事業	2.4				1.5	3.9	4.1
						0.0	0.0
2020年度 歳出目 合計	13.0	0.0	0.0	0.0	3.8	16.8	17.9
2019年度 歳出目 合計	16.0	0.0	0.0	0.2	1.7	17.9	

6.個別分析

▽利用料金収入と利用状況の推移



7.総括

①成果および財務の分析

◆2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、全体の展覧会観覧者数は約33%減少し、観覧料や施設使用料などの収入も約25%減少しました。◆行政費用については、補助費が増加したものの、物件費や維持補修費が減少したことにより26,904千円減少しました。◆行政収入については、地域の文化・芸術活動助成事業助成金や新たに美術館連絡協議会美術館活動助成金を獲得できたため助成金獲得額が増加しました。しかし、観覧料収入や物品売払収入の減少などにより全体では10,407千円減少しました。

②新型コロナウイルス感染症の影響、対策および財務への影響の分析

◆3月28日から6月8日まで臨時休館としたことから、全体の展覧会開催日数が139日減少しました。◆臨時休館になったことなどにより観覧者数が減少したことから、観覧料収入が約54%減少しました。◆館内消毒用及び来館者手指消毒用の消毒液のほか、非接触型検温器や飛沫感染対策用アクリル板の購入により744千円支出いたしました。◆臨時休館や感染拡大防止のため利用を中止した施設利用者に対する還付額が1,350千円となりました。

③2020年度末の「成果および財務の分析」を踏まえた事業の課題

◆感染防止対策を徹底するとともに、展覧会やイベントを開催する際にはインターネットやSNSをはじめとして様々な手法により国際版画美術館の魅力を情報発信するなど、来館者の増加につなげる取り組みが必要です。◆行政収入の増加に向けて、助成金などの積極的な獲得が求められています。◆多くの人に訪れてもらうため、美術館へのアクセス方法について検討する必要があります。◆新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館を契機として美術鑑賞の方法やイベント実施の手法についてオンラインの活用を検討する必要があります。

④課題解決・目標達成に向けた今後の取り組み

短期的な取り組み(1～2年)	中長期的な取り組み(3～5年)
◆積極的にSNSを活用し幅広い層に情報発信を行うなど、来館者数の増加に向けた広報活動に取り組みます。◆来館者の増加にむけて展覧会の期間に合わせた無料シャトルバスを運行します。◆オンラインでも美術鑑賞を楽しめたり、イベントに参加できる取組みについて検討します。	◆芹ヶ谷公園"芸術の杜"構想を実現させるため、(仮称)国際工芸美術館と連携した展覧会の実施や、「子どもと体験」というコンセプトを取り入れたプログラム等の実施を検討します。◆作品鑑賞動画の作成など、WEBコンテンツの充実により、多様な美術館の楽しみ方について検討します。

変更点①

他自治体の取り組み等

課別行政評価シートでは、事業に関連する情報の自治体間比較等を行っています。

変更点③

課題解決・目標達成に向けた今後の取り組み

課題解決・目標達成に向けた今後の取り組みをいつ、どのようにするのかを含めて明確化しています。短期的な取り組み(1～2年)、中長期的な取り組み(3～5年)を分けて記載しています。

変更点②

新型コロナウイルス感染症の影響、対策および財務への影響の分析

全体的な「成果および財務の分析」とは別に、新型コロナウイルス感染症が事業に及ぼした影響や対策、また財務への影響を記載しています。

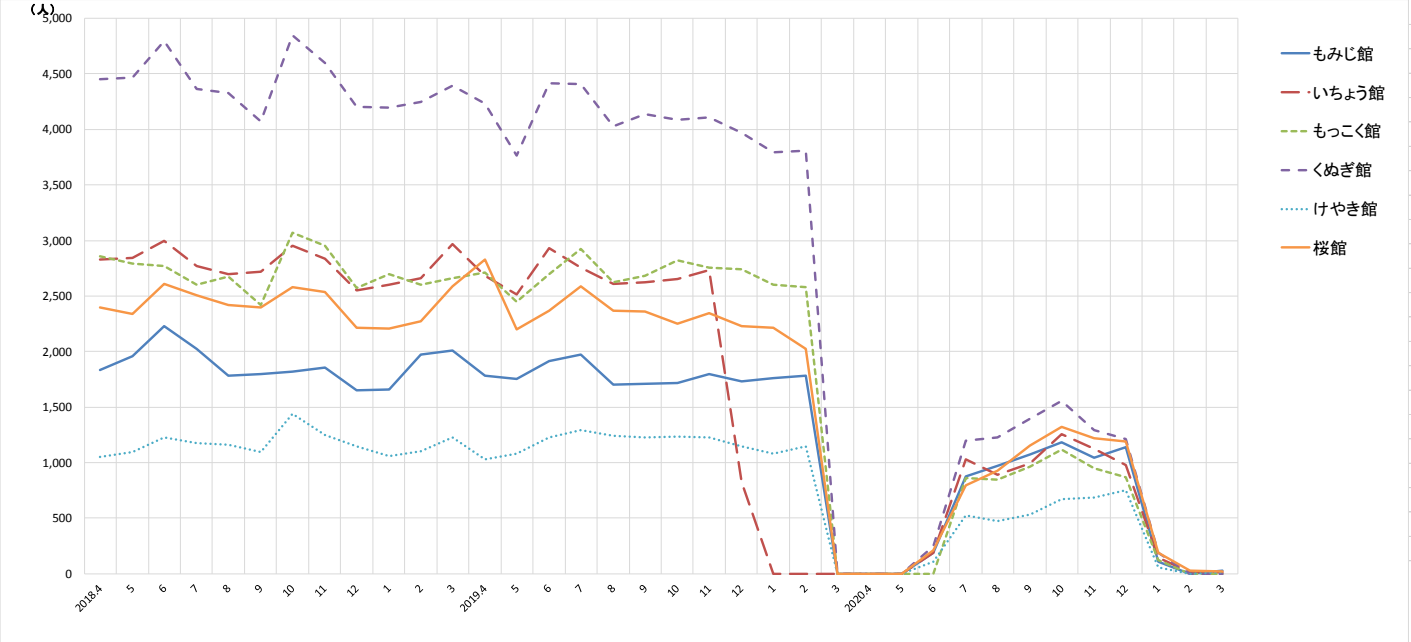
別紙2

3 事業の成果の月次推移

各施設利用人数

（人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2018年度	もみじ館	1,832	1,958	2,228	2,024	1,783	1,793	1,815	1,856	1,653	1,661	1,969	2,010	22,582
	いちょう館	2,825	2,845	2,994	2,771	2,699	2,721	2,950	2,832	2,552	2,599	2,660	2,966	33,414
	もっこく館	2,861	2,790	2,770	2,604	2,677	2,418	3,071	2,950	2,573	2,693	2,601	2,662	32,670
	くぬぎ館	4,452	4,469	4,795	4,364	4,330	4,070	4,850	4,598	4,205	4,193	4,250	4,391	52,967
	けやき館	1,053	1,096	1,229	1,175	1,157	1,092	1,441	1,247	1,147	1,057	1,105	1,224	14,023
	桜館	2,396	2,336	2,606	2,507	2,418	2,396	2,578	2,533	2,217	2,206	2,271	2,590	29,054
	計	15,419	15,494	16,622	15,445	15,064	14,490	16,705	16,016	14,347	14,409	14,856	15,843	184,710
2019年度	もみじ館	1,779	1,750	1,917	1,975	1,698	1,712	1,717	1,796	1,728	1,763	1,780	0	19,615
	いちょう館	2,679	2,514	2,928	2,757	2,611	2,627	2,653	2,732	827	0	0	0	22,328
	もっこく館	2,708	2,447	2,699	2,922	2,624	2,682	2,819	2,756	2,743	2,599	2,579	0	29,578
	くぬぎ館	4,233	3,767	4,419	4,411	4,026	4,139	4,086	4,106	3,969	3,793	3,812	0	44,761
	けやき館	1,031	1,077	1,228	1,289	1,239	1,226	1,231	1,226	1,149	1,080	1,146	0	12,922
	桜館	2,827	2,198	2,366	2,585	2,366	2,361	2,253	2,343	2,231	2,217	2,022	0	25,769
	計	15,257	13,753	15,557	15,939	14,564	14,747	14,759	14,959	12,647	11,452	11,339	0	154,973
2020年度	もみじ館	0	0	190	874	967	1,072	1,180	1,044	1,140	107	0	25	6,599
	いちょう館	0	0	187	1,032	893	992	1,258	1,126	978	144	12	9	6,631
	もっこく館	0	0	0	859	846	965	1,116	949	868	124	0	0	5,727
	くぬぎ館	0	0	248	1,200	1,228	1,397	1,556	1,292	1,211	187	0	0	8,319
	けやき館	0	0	109	521	471	534	673	681	753	58	0	9	3,809
	桜館	0	0	206	797	929	1,156	1,320	1,221	1,193	190	29	22	7,063
	計	0	0	940	5,283	5,334	6,116	7,103	6,313	6,143	810	41	65	38,148
2020年度 対前年度比率	もみじ館	皆減	皆減	9.9%	44.3%	56.9%	62.6%	68.7%	58.1%	66.0%	6.1%	皆減	皆増	33.6%
	いちょう館	皆減	皆減	6.4%	37.4%	34.2%	37.8%	47.4%	41.2%	118.3%	皆増	皆増	皆増	29.7%
	もっこく館	皆減	皆減	皆減	29.4%	32.2%	36.0%	39.6%	34.4%	31.6%	4.8%	皆減	－	19.4%
	くぬぎ館	皆減	皆減	5.6%	27.2%	30.5%	33.8%	38.1%	31.5%	30.5%	4.9%	皆減	－	18.6%
	けやき館	皆減	皆減	8.9%	40.4%	38.0%	43.6%	54.7%	55.5%	65.5%	5.4%	皆減	皆増	29.5%
	桜館	皆減	皆減	8.7%	30.8%	39.3%	49.0%	58.6%	52.1%	53.5%	8.6%	1.4%	皆増	27.4%
	計	0.0%	0.0%	6.0%	33.1%	36.6%	41.5%	48.1%	42.2%	48.6%	7.1%	0.4%	0.0%	24.6%



4 事業の成果の月次推移の分析

①2020年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月1日から6月22日まで全館休館しました（もっこく館は6月30日まで休館）。
②2021年は2度目の緊急事態宣言発出に伴い、1月8日から3月31日まで全館休館しました。
③カラオケ等一部サービスの中止や、午前午後入れ替え制等の新しい利用ルールの元でふれあい館を運営しましたが、休館期間が無かった月においても各館利用人数が前年度の同時期と比較し減少しました。
④いちょう館における2020年12月来館者数の対前年度比118%は、2019年12月9日から改修工事に伴う休館があった影響で、2019年12月の開所日数が7日間であったためです。

2020年度行政評価シート（一般会計）

別紙3

①行政コスト計算書

（単位:百万円）

勘定科目		2018年度	2019年度 A	2020年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	20,516	20,632	20,809	177
	うち時間外勤務手当	820	935	845	△ 90
	物件費	19,749	21,753	27,200	5,447
	維持補修費	4,188	2,813	2,560	△ 253
	扶助費	49,060	51,532	52,129	597
	補助費等	16,425	15,599	62,828	47,229
	繰出金	16,469	17,081	15,353	△ 1,728
	減価償却費	5,580	5,657	5,942	285
	不納欠損引当金繰入額	117	170	248	78
	賞与・退職手当引当金繰入額	2,015	2,247	2,233	△ 14
	行政費用 小計 (b)	134,119	137,484	189,302	51,818
特別費用 (g)		677	980	1,667	687
特別収支差額 (f)-(g)=(h)		△ 189	963	△ 691	△ 1,654

勘定科目	2018年度	2019年度 A	2020年度 B	差額 B-A
行政収入 地方税	68,341	68,990	69,459	469
保険料	0	0	0	0
国庫支出金	26,309	28,358	78,720	50,362
都支出金	18,646	20,130	22,267	2,137
分担金及負担金	1,663	1,180	615	△ 565
使用料及手数料	3,358	3,395	3,156	△ 239
その他	16,228	15,502	18,246	2,744
行政収入 小計(a)	134,545	137,555	192,463	54,908
行政収支差額 (a)-(b)=(c)	426	71	3,161	3,090
金融収支差額 (d)	△ 552	△ 472	△ 450	22
通常収支差額 (c)+(d)=(e)	△ 126	△ 401	2,711	3,112
特別収入 小計 (f)	488	1,943	976	△ 967
当期収支差額 (e)+(h)	△ 315	562	2,020	1,458

②行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	時間外勤務手当　8.5億円 会計年度任用職員報酬　28.5億円 会計年度任用職員期末手当　3.2億円
主な増減理由	テレワークの促進や各業務の見直しにより時間外勤務手当が0.9億円減少。会計年度任用職員化に伴う会計年度任用職員報酬が6.8億円増加。会計年度任用職員期末手当が3.2億円増加。

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	キャッシュレス決済プレミアムポイント事業業務委託料 16.8億円 学校給食費賄材料費　9.6億円 特別定額給付金給付事業業務委託料　2.4億円
主な増減理由	国の交付金を活用し、キャッシュレス決済プレミアムポイント事業業務委託料が16.8億円増加、特別定額給付金給付事業業務委託料が2.4億円増加。学校給食費公会計を開始し、賄材料費が9.6億円増加。

勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	特別定額給付金　428.2億円 中小企業者家賃補助事業補助金　14.3億円 医療機関特別給付金　2.0億円
主な増減理由	国の交付金及び補助金を活用し、特別定額給付金が428.2億円増加、中小企業者家賃補助事業補助金が14.3億円増加、医療機関特別給付金が2.0億円増加。

勘定科目	扶助費
決算額の主な内訳	施設等利用給付費　7.4億円 障害者自立支援給付費等（国制度）　94.3億円
主な増減理由	幼児教育・保育無償化が通年化されたことによる施設等利用給付費が3.4億円増加。事業所の新規開設やサービスの認知度の向上等による利用者の増加により、障害者自立支援給付費等が4.8億円増加。

勘定科目	国庫支出金
決算額の主な内訳	特別定額給付金給付事業費補助金　428.2億円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 35.8億円 公立学校情報機器整備費補助金　8.6億円
主な増減理由	新型コロナウイルス感染症対策に係る特別定額給付金給付事業費補助金が428.2億円増加、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が35.8億円増加。文部科学省GIGAスクール構想に係る公立学校情報機器整備費補助金が4.9億円増加。

勘定科目	都支出金
決算額の主な内訳	市町村新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金 10.8億円 市町村総合交付金　39.0億円
主な増減理由	新型コロナウイルス感染症対策に係る市町村新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金が10.8億円増加。普通建設事業費の増による振興支援割の増等により市町村総合交付金が2.3億円増加。

③貸借対照表

（単位:百万円）

勘定科目		2019年度末 A	2020年度末 B	差額 B-A
流動資産	未収金	2,265	4,231	1,966
	不納欠損引当金	△ 452	△ 542	△ 90
	その他の流動資産	7,881	9,021	1,140
固定資産 事業用資産	有形固定資産	400,595	397,618	△ 2,977
	土地	295,048	293,420	△ 1,628
	建物(取得価額)	200,894	202,046	1,152
	建物減価償却累計額	△ 105,582	△ 108,641	△ 3,059
	工作物(取得価額)	15,240	16,563	1,323
	工作物減価償却累計額	△ 5,005	△ 5,774	△ 769
	無形固定資産	4	3	△ 1
固定資産 インフラ資産	有形固定資産	1,029,991	1,048,287	18,296
	土地	908,107	918,924	10,817
	工作物(取得価額)	128,681	139,335	10,654
	工作物減価償却累計額	△ 6,796	△ 9,972	△ 3,176
	無形固定資産	0	0	0
	建設仮勘定	12,881	25,955	13,074
	その他の固定資産	19,205	21,166	1,961
資産の部合計		1,472,366	1,505,736	33,370

勘定科目	2019年度末 A	2020年度末 B	差額 B-A
流動負債	8,257	11,422	3,165
還付未済金	17	20	3
地方債	7,127	10,208	3,081
賞与引当金	1,044	1,130	86
その他の流動負債	69	63	△ 6
固定負債	87,098	91,134	4,036
地方債	72,863	77,275	4,412
退職手当引当金	14,096	13,778	△ 318
その他の固定負債	139	81	△ 58
繰延収益	0	0	0
長期前受金	0	0	0
負債の部合計	95,355	102,556	7,201
純資産	1,377,011	1,403,180	26,169
純資産の部合計	1,377,011	1,403,180	26,169
負債及び純資産の部合計	1,472,366	1,505,736	33,370

④貸借対照表の特徴的事項

勘定科目	土地
決算額の主な内訳	道路用地　914.8億円など
主な増減理由	供用開始告示に伴う土地（事業用資産）から土地（インフラ資産）への振替等により6.6億円増加。

勘定科目	建設仮勘定
決算額の主な内訳	熱回収施設等施設整備工事136.3億円など
主な増減理由	熱回収施設等施設整備における工事費を計上したことにより88.8億円増加。

⑤キャッシュ・フロー収支差額集計表

（単位:百万円）

勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
行政サービス活動収入	191,731	社会資本整備等投資活動収入	12,060	財務活動収入	14,729
行政サービス活動支出	182,424	社会資本整備等投資活動支出	27,924	財務活動支出	7,305
行政サービス活動収支差額(a)	9,307	社会資本整備等投資活動収支差額(b)	△ 15,864	財務活動収支差額(c)	7,424
				収支差額　合計 (a)+(b)+(c)	866
				一般財源充当調整額	△ 866

⑥町田市の動きと新型コロナウイルス感染者数

年	2020年												2021年		
月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	7	2	7	27 1 7 19	22 1	21		30	1 9		1 23	7 29	15 24	29
町田市の動き	帰国者・接触者電話相談センター設置	市立小・中学校臨時休校（5月末まで）	緊急事態宣言発出（5月25日まで）	地域外来・検査センター設置 特別定額給付金申請受付開始 5月補正予算成立（第1回臨時会）	中小企業者家賃補助申請受付開始 5月補正予算②成立（第2回臨時会）	市立小・中学校再開 7月補正予算成立（第3回臨時会）		9月補正予算成立（第3回定例会）	新生児臨時特別定額給付金申請受付開始 ふるさと納税を活用した医療機関特別給付金贈呈		キャッシュレス決済プレミアムポイント事業開始（1月末まで） 12月補正予算成立（第4回定例会）	緊急事態宣言発出（3月21日まで） 1月補正予算成立（専決処分）	ワクチン接種コールセンター設置 3月補正予算成立（第1回定例会）	3月補正予算②成立（第1回定例会）
感染者数	0	6	39	6	7	53	98	45	79	112	349	1,100	169	125

累計感染者数（2020年2月～2021年3月）　2,188